

平成27年3月31日

## 社団法人日本クラシック音楽事業協会御中

音楽による福島まち造り実行委員会

代表 三浦尚之

[推薦者] 一般社団法人日本クラシック音楽事業協会 参与 善積俊夫

## 復興支援音楽祭実施報告

日程：2015年3月6日（金）16時30分～21時00分

会場：福島市音楽堂大ホール

出演：基調講演：小和田恆判事。演奏：宮田まゆみ（笙）、ウー・マン（ピアノ）、ジン・ヒ・キム（コムンゴ）

スタッフ：三浦隆晴（舞台監督）、花岡美智（通訳）

### 演奏曲目：

#### 古典

日本	「平調調子」	笙
韓国	「ダスルム」（プレリュード）	コムンゴ
中国	「夕陽笛鼓」（夕陽簫鼓）	ピアノ

#### 現代曲

ウー・マン	「夜想」、「秋舞葉」	ピアノ
斉木 由美	「アントモフォニー VII」	笙
ジン・ヒ・キム	「インフルエンシャル・ダンス」	コムンゴ
ネッド・ローゼンバーグ	「雲海」～笙、ピアノ、コムンゴ	

来場者：約530名

### 目的：

福島では、東日本大震災と原発事故の災害により、多くの中国及び韓国籍の外国人が自国へ帰国したり、親族を福島に残し他県に移住したりと、家族が離れ離れになりました。しかしながら、その多くが最近ようやく福島市に戻り、家族の絆をとり戻した生活を営んでおります。福島市には中国人が564人及び韓国人が171人居住しております。風評被害にもめげず福島に戻られた外国人に、祖国の音楽を聴いてもらい、音楽の力で心の復興を願います。また、福島市には原発事故のために避難を余儀なくされている多

くの市町村民が、困難な避難生活を未だに強いられています。その避難民と子どもたちも含めて、三ヶ国の人々との交流融和、そして皆さんの生きる力を助長することを期待します。

#### 成果：

基調講演者の小和田判事が講演の中で、「普遍的に存在しているものをどう引き出すかが広い意味での文化交流。変化していく世界の中で重要になる。」と話しました。また、日中韓3カ国の伝統楽器の名手を招聘してのコンサートは、2月のニューヨークと、ワシントンDCの米国公演も、ニューヨークタイムス紙などに高い評価を得ており、福島での公演も多くのメディアの関心も集め、素晴らしい演奏でした。会場に集まった中国人、韓国人、そして日本人の聴衆は、それぞれの国の伝統曲に深く聞き入り、また米国人作曲家による委嘱新作を3名が合奏する姿に多民族文化の融合を感じとり、拍手を惜しみませんでした。

#### 経費報告：

旅費交通費：110,510円

<内訳>小和田恆(基調講演者)、宮田まゆみ(笙)、ウー・マン(ピパ)、ジン・ヒ・キム(コムゴ)、三浦隆晴(舞台監督)、花岡美智(通訳)

東京～福島(東北新幹線往復)6名=56,360円

リッチモンド・ホテル福島：5名x1泊 8,450円=42,250円

：1名x1泊11,900円=11,900円

計 54,150円

合計110,510円

以上。